

**海老蔵** 麻央の笑顔が見たくて! 切望の1か月休暇  
**松嶋** 娘を英国バレエ留学へ! 夏のタブー解禁します



25年ぶりの復活 **小林麻美** 還暦で考えた私のこれから  
 「雨音はジョバンの調べ」

**女性セブン** 特別定価 400円 8月4日号

緊急グラビア **Kinki Kids** 20年ぶりの関係 手ぶらで行く BBQ スポット

超新星 ユナク&ソングエ

デイーン様は すっきり!

**中山美穂** 2つつの別れ けしたおひとりさではない私

**北山晶** 髪の毛が生えてきた! 放射線治療へ、自力通院

「生前退位」独占総力詳報

**平成皇室最後の闘い**

強いご意向の奥に両陛下の悲願と嘆き。そして、期待と不安の中、雅子さまが美智子さまに告げた衝撃のお言葉とは

5年前のあの日、陛下の大原則は崩れた。あれから1700日、宮中ではいったい何が起きていたのか

「1週間で2kg痩せると10才老け込む」  
 アルバム松田聖子54才。なぜ私たちは彼女に心がさわつくのか

緊急特集 その薬、のんでいいのかわいのか 最終結論

売れいきなり作れます! 世界一のカレーレシピ

不満と愚痴が噴出! 夫婦の財布 円満な手綱の握り方教えます

ニッポンの現実 子供の貧困は夏休みに深刻化する

糖質オフダイエット 和でも洋でも井でも

**松尾代** 夫におねだり1800万円 ポルシェゲットの高笑い

**尾崎豊** 享年26 生き写しの長男熱唱 父よ聴いてくれてますか

女性セブン 8月4日号 平成28年7月21日発行・発売 第54巻第28号 毎週一回木曜日発行・発売 第三種郵便物承認 編集人 川島雅史 発行人 鈴木崇史 小学館発行 千代田区千代田一ツ橋二ノ三ノ一 電話(編集)03-2330-5585(販売)03-5281-1771 大日本印刷株式会社・印刷

ビートたけし × 西島秀俊 × ウェイン・ワン



【第66回ベルリン国際映画祭 パノラマ部門正式出品作品】  
 While the Women Are Sleeping

**女が眠る時**

ビートたけし / 西島秀俊 / 忽那汐里 / 小山田サユリ / 新井浩文 / 渡辺真起子 / リー・フランキー (特別出演)

Blu-ray 特装限定版、DVD 特装限定版 & 通常版

Blu-ray (特装限定版) ¥5,800 (税別) / BCUJ-1145 本編BD:約103分(本編約102分+特典約1分)+特典DVD:76分

DVD (特装限定版) ¥4,800 (税別) / BCBJ-4788 本編DVD:約103分(本編約102分+特典約1分)+特典DVD:76分

DVD (通常版) ¥3,800 (税別) / BCBJ-4787 ※本編Discのみ 約103分(本編約102分+特典約1分)

Blu-ray & DVD (特装限定版) 特典

- 特製ブックレット(8P)
- 特典DVD:メイキング・イベントダイジェスト映像集(初日舞台挨拶ほか)・デジタルギャラリー
- 特典映像:特報(本編ディスクに収録) ●他、仕様:特製スリーブケース
- 特報

8.3 on sale

販売・販売元:バンダイビジュアル株式会社 [公式HP] <http://www.onna-nemuru.jp/>

雑誌 20921-8/4 4910209210864 © Shogakukan 2016 特別定価400円  
 Printed in Japan 00370 本体370円



緊急特集  
のむ前に  
読んでください

# その薬、のんで いいのか、悪いのか



相次ぐ衝撃報道で広がる波紋。  
どう考えたらいいのか、  
あなたのギモンに答えます!

## 最終結論

長年、病院で処方されてきた薬は「医師に出されてもみ続けてはいけない」ものだった——そんな衝撃的な報道が波紋を広げている。どんな薬いつまでのみ続けるかということは人によっては命にかかわる問題だ。広がる不安の声にこたえるために、本誌が医師、薬剤師たちに薬の「真実」を聞いた——

「先生、私、これ以上、この薬をのみたくないんですけれど……」  
そんな不安を医師に訴える人が増えている。その発端となったのは「週刊現代」の一連の記事だ。6月11日号で「医者に出されても飲み続けられない薬」というタイトルで記事を掲載後、「有名な薬でも医者の言いなりに飲み続けるのはこんなに危険です!」（6月18日号）、「生活習慣病 その薬、一度飲んだら最後、やめられませんか」（6月25日号）など、私たちが普段から飲んでいるような一般的な薬を粗上にあげて真つ向から否定しているのだ。中には、副作用によってがんを引き起こしたり、認知症の症状を悪化させたりするリスクもあると指摘されていて、それらの記事に自分がのんでいる薬の名前を見つけた人は、かなり驚いたに違いない。  
しかし、誌面で名指しされた「糾弾」された薬は、本当に危険なのだろうか。本誌は改めて、医師や薬剤師にその副作用と危険性について聞いてみた。

### 最終結論! ロキソニンなど鎮痛剤は のみ続ける「危ない」のか?



今年3月、厚生労働省が解熱鎮痛剤「ロキソニン」の「重大な副作用」の項目に、「小腸・大腸の狭窄・閉塞」を追加するように指示したことが大きな話題になった。ロキソニンといえば、薬局でも手軽に購入できる、鎮痛剤の代名詞的存在だ。  
頭痛や生理痛の際には手放せないという人も多いだろう。そのロキソニンが、腸に負担をかける可能性がある。警告「されているのだ」。  
「ロキソニンは、効き目が強い反面、副作用が報告されることが多い薬です。のみ続けると、副作用によって、胃潰瘍や十二指腸潰瘍になる人もいます。潰瘍が小腸や大腸にもでき、それによって腸が狭くなり、内容物が詰まってしまふ可能性もあるのです」  
(前出・秋津さん)  
腸がふさがって腸閉塞となると、最悪の場合、死に至る。さらに、重大な病気の発見が遅れてしまうことがある。池袋大谷クリニック院長の大谷義夫さんはこう語る。  
「以前、別の医院で解熱鎮痛剤を処方してもらって余ったものを、熱が出たからといって、1日3回1週間のみ続け、



